

美術家・きむらとしろうじんと共に取り組む「ちょちょまうヴァナキュラー ～にしなり+路上+野点+屋台 (略称: ちょちょヴァナ)」では、この秋から来年春の開催に向けた「おさんぽ大会+説明会」を実施します。

「ちょちょヴァナ」とは、参加者のみなさんが考える多種多様な「魅力の予感」を大小様々な屋台として公共空間に持ち出し表現の場を創出することで、日常の中に新たな風景を生み出していくものです。5月よりスタートしたおさんぽ大会では、地域内外の参加者と共にもちを歩き、空き地や公園、路肩など、まちの余白を発見し、来年3月の開催場所の候補地を探していきます。また、本事業のベースとなっているプロジェクト「作業場@旧今宮小学校」では、月1-2回のオープン日に、屋台の相談や制作なども行なっていく予定です。

以下のスケジュールで実施予定ですので、準備段階も含めて取材、掲載についてご検討いただけましたら幸いです。

スケジュール

- 7月 31(土) おさんぽ大会+説明会③
「おさんぽ+妄想屋台大プレゼン大会！」
- 8月 1(日) おさんぽ大会+説明会④
「春の開催場所決定おさんぽ」
上記2日間は秋と春の本番に妄想屋台を計画している今宮工科高校の生徒たちによるプレゼンを予定。また、5~6月のおさんぽ大会で候補に上がった場所を再度廻りながら、開催場所の候補地を絞り込んでいきます。(時間: 10:00~18:00頃)
- 9月 23(木・祝)「野点スタッフ体験説明会+妄想屋台リハーサル」
実際に窯を焚いて野点の作業を一通り体験するほか、高校生による妄想屋台などが、秋の本番に向けてリハーサルを行う予定です。(時間: 10:00~19:00頃)
- 10月 31(日) 秋の本番「ちょちょヴァナ その1」
- 11月 ~春の本番に向けた準備~
- 12月 18(土) おさんぽ大会+説明会⑤
「今池こどもの家のみんなと歩こう」
6/19のおさんぽ大会に参加できなかった今池こどもの家に集うこどもたちが案内します。春の本番では、こどもたちがまちを案内するツアーがあるかも。
- 1月 22(土) おさんぽ大会+説明会⑥
「あいさつまわりと現場確認さんぽ」
23(日) おさんぽ大会+説明会⑦
「あいさつまわりと現場確認と妄想屋台の最終相談会」
確定した会場の確認やその周辺住民の皆さんへの挨拶まわり行います。
開催場所は上記のおさんぽ大会を経て絞り込んだ複数の候補地について、持ち主や地域の方に相談しながら調整を進め12月頃確定します。
- 3月 20(日) 春の本番「ちょちょヴァナ その2」
26(土) 春の本番「ちょちょヴァナ その3」



5、6月のおさんぽ大会の様子



5/24、6/21は今宮工科高校にてきむらによる妄想屋台の授業を行いました



2020年11月 プレ企画として実施した「いまみや・ちょちょヴァナ・ひろば」の様子
photo: 草本利枝

本プロジェクトは、路上や空き地などさまざまな人々が行き交うオープンなスペースにて「野点」と題した表現活動に20年以上に渡って取り組む美術家・きむらとしろうじんと、大阪市西成区にて地域に密着したアートプロジェクトを展開するブレーカープロジェクトが、公共空間における活動を通じて、規制や管理をめぐる様々な課題を考察/再考するアートの実践です。きむらが長年取り組んできた「野点」(陶芸屋台)のメソッドをベースに、様々な人とそれぞれが考える魅力を「路上」に持ち出し、そのプロセスのなかで場所や地域に対するさまざまな感情や思考、対話を誘発することで共有/共創の場を出現させることを目的とします。

きむらは、まちの中に異物(野点)を持ちこむことに対して当然起こるダイレクトな反応(反対意見も含めた様々な摩擦)が自身の活動には不可欠な要素と考え、1995年より路上などの公共空間を実践の場とし、各地で「野点」を行っています。「具体的な作業こそが最も繊細で多様で、なおかつ越境性が高い」というきむらは、野点の一連の作業を通して、異なる年齢、性別、肩書、国籍などの様々な立場の違いを超えて等価に存在できる場をめざし、普段は会うことのない多様な人たちが会ってしまう場、時には奇跡的な「越境」が生まれる場を創出してきました。ブレーカープロジェクトにおいても、2004年以降、西成区各所にて「野点」を複数回実施。また、現在進行中のプロジェクト「作業場@旧今宮小学校」でも、きむらと共に取り組んでいます。ここで地域の組織や施設と様々な連携を図りながら、地域内外から参加する人々と協働したボトムアップ的手法で継続した場づくりを行なっていることも、本プロジェクトのベースとなっています。

●作業場@旧今宮小学校

2015年より廃校となった小学校を活用して取り組むプロジェクト。美術家・きむらとしろうじんとを中心に、<地域にあるものを活かす><他領域との協働><アートを媒介にする>をコンセプトとし、作業(ものづくり)を軸とした場づくりの実験です。

誰もが立ち寄れる(立ち寄りたくなる)地域に開かれた場をめざし、魅力的な作業を発生させていくことで、住民の自発的な参加を誘発する質の高い場をアーティストと共に創出。月に1-2回オープンし、未就学児から高齢者まで多世代の参加者と共に、木工作業、陶芸(学校に残っていた陶芸窯を活用)、学習園を利用した畑の実験、自然の循環を考える庭づくり等を行なっています。この作業場に継続して参加するメンバーも、妄想屋台に参加する予定です。

今後のオープン日: 7/17(土)・18(日)、8/21(土)、9/19(日) * 10月以降も月1~2回実施予定です。



photo: 草本利枝 (上段中・右 / 下段中・右)

きむらとしろうじんじん（美術家）

1967年新潟県生まれ、京都府在住。京都市立芸術大学大学院美術研究科で陶芸を学ぶ。修了後、アート&コミュニティーセンターの運営やHIV/AIDS・セックス・セクシャリティに関するNGO活動の立ち上げ・運営、滞日外国人支援のためのカフェの立ち上げ・運営に関わる。1995年より、大小2台のリヤカーに、陶芸窯・素焼きのお茶碗・うわぐすりなどの陶芸道具一式と、お抹茶セット一式を積んでまちの様々な場所にあらわれる移動式カフェ旅回りのお茶会「野点一焼立器飲茶美味窯付移動車」を全国各地で開催、現在も絶賛続行中。2010～2013年度には東京アートポイント計画の一環として、一般社団法人「谷中のおかって」とともに東京都台東区谷中界隈を舞台にこども創作教室「ぐるぐるミックス」の立ち上げに関わる。2011年の震災を契機に岩手・釜石のかまいしこども園・釜石市民ホールと連携した釜石版ぐるぐるミックスも立ち上げ、続行中。ブレーカープロジェクトとは2004・2005・2007年に新世界・西成界隈で野点を広範囲で開催し、2014年に今宮小学校での野点を契機に「作業場」の立ち上げ・運営に関わり、現在も絶賛続行中。

Breaker Project について

大阪市が推進する文化事業として、2003年より始動。浪速区・新世界からスタートし、西成区（山王 / 今宮）へもエリアを拡げながら継続して活動する地域密着型のアートプロジェクトです。表現者と鑑賞者双方にとって有効な創造の現場を日常の中に創出し、地域の人々と様々な関わりをつくりながら展開。独自の表現手段を開拓するアーティストと共に実験的な表現活動に取り組み、「芸術と社会の有効な関係」を再構築していくものです。現代の芸術と社会をつないでいくことで、芸術・文化の裾野の拡大を図ること、また、市民一人ひとりが多様な価値観を獲得すると同時に、それぞれの想像力、創造力を取り戻し、持続可能な地域社会が形成されていくことをめざしています。2011年からは、地域に根ざした創造活動拠点として、空き店舗や廃校跡などの地域資源を活用した「創造の場」の実験のほか、地域の福祉や教育、まちづくりなど他領域との連携にも積極的に取り組んでいます。

現在は、「ちょちょヴァナ」、「作業場@旧今宮小学校」のほか、西成区の子どもを対象に、地域の児童館、小中学校や高校などと連携し取り組んできた即興音楽のプロジェクト「西成・子どもオーケストラ」、美術家を招聘し、地域のリサーチをベースとした作品制作を行うレジデンス事業を展開しています。

会場（説明会、秋の本番）

旧今宮小学校

住所：大阪市西成区天下茶屋 1-17-14

アクセス：地下鉄四つ橋線「花園町」[3-B] 番出口 徒歩 7分
地下鉄堺筋線 / 南海線「天下茶屋」東口 徒歩 10分
阪堺電軌阪堺線「今船」下車 徒歩 5分



お問い合わせ

ブレーカープロジェクト実行委員会（担当：雨森・松尾）

大阪市西成区山王 2-7-18 TEL：070-5046-8667

E-mail：info@breakerproject.net web: https://breakerproject.net/